



関町小通信

平成24年7月1日
練馬区立関町小学校
校長 吉田隆司

言葉の大切さ

プールから聞こえる子供たちの歓声が、梅雨空をぱっと明るくしてくれるこの頃です。一学期も中盤を迎え、あと三週間足らずで夏休みを迎えます。

先日、ある方とこのようなお話をする機会がありました。「夕方薄暗い中、学校の近くを自転車で走っていたら、何人かの子供が突然猛スピードで前を横切っていきました。『あっ、危ない』と思ったとたん、思わず『ライトを付けようよ！』と叫んでいました。少し走ってから振り返ると、その子供たちは各々自転車のライトを付けて走っていく姿に、何かほっとするものを感じました。もし、あのとき『ライトをつけろよ！』と怒鳴っていたら、あの子供たちはライトをつけなかったかも知れませんね。」

私はこの話を大変興味深く聞きました。「相手の言うことは分かるけど、でも、言うとおりにしたくない。」という心理が一瞬にして働いてしまうことがあります。この場合には、子供たちは、ちょっと走ったけれどきちんとライトをつけて素直に行動に移しています。それは、この方が言った「～しようよ。」という声掛けだったからだろう

と思われま

す。どんなに理屈で分かっている、押しつけられると「何だよ！」「今やろうと思ったのに！」などと反発を感じさせることになってしまうことがあります。「～しようよ！」の言葉には温かさが感じられます。

今、子供たちに「きれ」という状況が見られます。「それは〇〇だったのです。」等と説明することができず怒ったり、話しが通じなくなったりすることで、自分を閉ざしてしまうことです。これは、耐えることや反省する力が弱くなっているのが原因とも言えるでしょうが、自分の考えや言いたいことをもっと表現できる力があれば違ってくるものと思います。そして、言葉を工夫して話し、相手の身になって考えられるようになれば、より一層人と人との絆を強めることができるでしょう。

今年度本校では、各教科における言語活動の充実を図るとともに、日常での多くの場面においてかかわりを深める中でコミュニケーション能力の伸張を重点にしています。言葉を大切に、自分の思いや考えをしっかりと伝えることのできる力の育成を目指しています。

7月の生活目標「生活の仕方を工夫しよう」

- 遊びと学習のけじめをつけよう
- 学習の準備をしっかりとしよう
- 教室の整理、整頓をしよう
- 夏休みの計画を立てよう

暑い季節になりました。つい、だらだらと過ごしてしまいがちですが、気持ちを切り替えて、けじめのある生活を送ることが大切です。また、長い夏休みを有意義に過ごすためには、どんなことをしたいのか、しっかりと計画をたてる必要があります。

7月は生活のリズムに気をつけて過ごし、気持ちよく夏休みを迎えられるように指導をしていきます。ご家庭でのご協力をお願いいたします。